

La Informilo de NEC

センター通信

臨時号

2015年3月17日発行

名古屋エスペラントセンター Nagoja Esperanto-Centro
461-0004名古屋市東区葵一丁目26-10ユニブル新栄301号
郵便振替 00840-8-40765 [名古屋エスペラントセンター]
<http://homepage2.nifty.com/nagoja-esperanto/>



クレシェヴォのフランチェスコ修道院（14世紀）の書庫
今回の講演者清水美穂さん撮影

2015年名古屋エスペラントセンター総会のご案内

日程：4月4日（土）15時より総会議事。

16時半より17時半まで講演会

会場：名古屋エスペラントセンター

詳しくは次ページをご覧ください。

2015年名古屋エスペラントセンター総会と講演会のご案内

会員のみなさんへ

下記のように2015年の名古屋エスペラントセンター総会を開きますのでぜひご出席いただきますようご案内申し上げます。議事後には、講演会、つづいて懇親会を準備しています。講演会は会員以外の方の参加もできます。新規参加者の参集を通じて新しい人材のエスペラント活動への参入を促進する一助として講演会を用意しています。

去年は総会議事のあとセンターの発足40周年のパーティーもあり17名の出席がありました。

名古屋エスペラントセンター委員長：猪飼吉計

日程：4月4日（土）15時より総会議事。

16時半より17時半まで講演会

（そのあと、公演終了後は有志で会場を移し懇親会とします）

会場：名古屋エスペラントセンター

（名古屋市 東区 葵一丁目 26-10 ユニール新栄 301号室）

地下鉄「新栄町」②番出口から東へ徒歩3分。

1階店舗の左がエントランス。エレベータまたは階段で3階へ

議題：例年通り

講演：

「ボスニアの修道院を訪ねて」清水美穂さん（日本語）

「インドにおける仏教再興」山口眞一さん（エスペラント）

または、「イタリア留学の報告」伊藤俊彦さん（エスペラント）

・当日、会費納入の受付します、会計鈴木善彦

4月4日センターで...

ボスニア史研究者の清水美穂さんのこと

今回は、昨年夏からのセンター会員で、ボスニア史研究者の清水美穂さんにミニ講演をお願いしました。清水さんは、1978年から81年まで、旧ユーゴスラヴィアのサラエボ大学に留学され、その後も、定期的にボスニアを訪れてボスニア史の史料を集める傍ら、現地の語学学校で日本学の講師を務めておられます。他方で、岐阜県関市の迫間不動の門前で極楽茶屋という茶店をご主人とともに切り盛りしておられます。

清水さんは、クロアチアの著名なエスペランチストで名古屋を訪れたこともあるスポメンカさんと親交があり、彼女の作品“Hodler en Mostar”を読みたいと思ったのがきっかけでエスペラント学習を決意されたとのこと。スポメンカの本の邦訳の手伝いもしておられます（このあたりの経緯は、センター通信第275号（2015年2月発行）に執筆していただいた自己紹介に詳しいので、ぜひご覧ください）。

清水さんは、この2月にボスニア・ヘルツェゴヴィナを訪問され、トルコ史研究者と同行して、文書館や修道院の図書室を訪ね、オスマン時代の貴重な史料を見せてもらったりされたそうです。今回の講演では、この訪問を踏まえて、ボスニア・ヘルツェゴヴィナの現状や歴史・文化をめぐって貴重なお話が聞けることと思います。みなさまのご参加をお待ちしております。

名古屋エスペラントセンター規約（抜粋）

(目的) 「センター」は、エスペラント運動の進展を願って、エスペラントの深化発展のために有形 無形のサービスを以て貢献することを目的とし、総合的・普遍のエスペラント文化のセンター建設への活動を行う。

(事業) 上記の目的を達成するために、以下の事業を行なう。

- ◎エスペラント文献・資料及び関係文献・資料の収集、調査、保管、貸出等の事業（図書館的機能）。
- ◎エスペラント図書販売及びその関連事業。
- ◎センター機関誌の発行。
- ◎合宿、講演、交流会等エスペラント文化向上のために必要と思われる事業。

(維持費) 「センター」の維持員は、維持費拠出高によって、A、B、C、Dに分け、維持費は次のとおりとする。

維持員A：毎月500円を維持費として拠出する者

維持員B：毎月1000円を維持費として拠出する者

維持員C：毎月2000円を維持費として拠出する者

維持員D：毎月3000円を維持費として拠出する者

維持員は、維持費6ヵ月の滞納で、その資格を失う。

(発効) 本規約は、成立の日（1974年3月10日）より発効する。



◀ 去年の総会後はNEC四十周年記念パーティーがありました。記念講演は「名古屋エスペラントセンター小史」や「センター関連出版物紹介」など。



名古屋に住んでいたハンガリーのトーマスさんは、グルジア (Kartvelujo) (黒海とカスピ海の間にある国) のアランジョに來ませんかと言っています。彼も参加するそうです。

Al ĉiuj samideanoj de la mondo!

Internacia aranĝo "Monda Kulturo en Esperanto"
kaj samtempe 4-a Kartvela Esperanto-Kongreso invitas vin!

Ĝi okazos de la 19-a ĝis la 26-a de septembro 2015

kaj ofertas al la partoprenantoj ankaŭ ekskursi tra la lando.

Informojn donas Nana Hxizambareli <karesa@mail.ru>.